

4. 学 校 紹 介

佐倉市立幼稚園

小学校

中学校

佐倉市立佐倉幼稚園



【園長先生から一言】

大正2年に始まり、今年が創立95年。伝統のもつよさを生かしながら、幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を愛情と規律をもって育てていきたいと考えています。

子どもたちには、安全で安心な園生活を送る中で、佐倉幼稚園のシンボルである「とちの木」のように、身も心も大きく成長してほしいと願っています。

【今年度の教育目標】

『幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する』

- ◎明るく元気な子ども（きちんとあいさつができる子）
- ◎最後までがんばる子ども（先生のお話を最後まで聞ける子）
- ◎みんなと仲良くできる子ども（ありがとう・ごめんなさいをきちんと言える子）

佐倉市立和田幼稚園



【園長先生から一言】

本園は昭和48年に創立し、今年度で35年目となります。田園地帯の中に位置し、緑豊かな自然に囲まれています。

また、和田小学校とも併設しているため、避難訓練・運動会などの行事を合同で行っています。特に1・2年生との交流は多く、幼稚園や小学校行事に参加したりと一緒に活動し、幼小のスムーズな接続を図っています。また、地域の2・3歳児に園開放日を設け、子育て支援をしています。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる。』

- 心身ともに健康な子ども（健康・たくましい）
- 明るく情操豊かな子ども（明るい・やさしい・感動する）
- 友達となかよく遊べる子ども（思いやり・協力する）
- 我慢強い子ども（よく考える・努力する）

佐倉市立弥富幼稚園



佐藤園長

【園長先生から一言】

本園は在籍数13名と小規模の幼稚園です。弥富小学校と併設しているため、合同で実施する行事が多くあります。休み時間には広い園庭にたくさんのお兄さん、お姉さんが遊びに来てくれます。地域の2、3歳児の交流も深めています。幼稚園、小学校、2、3歳児との連携を計画的に行うことで、小規模園ならではの特徴を生かした保育をし、美しい環境の中で伸び伸びと育てていきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な幼児を育てる」

◎こころのやさしい子

- ・思いやりがある子ども
- ・協調する子ども
- ・生命の大切さがわかる子ども
(生活の中で道徳性の発達を促す)

◎たくましい子

- ・元気に遊ぶ子ども
- ・自分のことは自分でできる子ども
- ・頑張りのきく子ども
(心身の健康や体力と幼児自身の自立)

佐倉市立佐倉小学校



平山校長

【校長先生からの一言】

子ども主体の教育活動を行い地域から信頼され、支えられる学校創りを目指す。

- ①組織で動く
- ②常に工夫、改善を意識する
- ③保護者の学校に対する関心を高める
 - ・子ども達が主体的に学び合う授業
 - ・月1回の歌声集会実地（歌唱力向上）

などを重点に、本年度より二期制を導入し教育活動を充実させ、歴史と伝統の中で624名の子どもたちを、大きく育てます。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をそなえた、心豊かなたくましい子どもの育成』

◎まごころ教育の推進

「まごころ」教育を教育活動の基本とし、知育・徳育・体育の調和がとれた人間性豊かな児童の育成をめざしています。

—望ましい児童像—

- よいあいさつをする子
- すすんで学習する子
- すすんで体をきたえる子
- なかよく助け合う子

佐倉市立内郷小学校



【校長先生からの一言】

印旛沼の南、自然豊かな岩の台地にある学校で、校庭は児童、保護者、職員で育てた草花でいっぱいです。

JRC活動、近隣の特別養護老人ホームや幼稚園との意義ある交流・体験活動を通して、子ども達は人を思いやる温かな心を持ち仲良く学校生活を送っています。135名の児童は、豊かな表情で活気あふれるあいさつができます。学校の歴史は古く、本年は創立100周年記念式典を挙ります。

【今年度の教育目標】

『次代を拓きたくましく生きる、心豊かな児童の育成』

《めざす学校像》

保護者・地域に信頼され、ともに歩む学校

《めざす児童像》

- 進んで学ぶ子 (知)
- 心のあたたかな子 (徳)
- 元気に体をきたえる子 (体)

佐倉市立臼井小学校



【校長先生からの一言】

臼井小学校は、印旛沼の畔にあり、豊かな自然に恵まれています。また、歴史も古く臼井城址、宿場町として歴史を語る道標など伝統豊かな地域の中に位置しています。

歴史学習や、豊かな自然を生かした学習など、素晴らしい体験を通じた学びができます。元気いっぱい、やさしさいっぱいの子供達を、地域全体で見守る体制もしっかりできています。地域を愛し、意欲のある子にしたいと思います。

【今年度の教育目標】

『かしこい子どもの育成』

めざす児童像

- 勉強する子 (読み書き計算が得意で、学び方を身につける子)
- やさしい子 (みんなと仲よしで、お年寄りや小さい子にやさしくする子)
- 元気な子 (明るく元気で、体を鍛える子)

佐倉市立印南小学校



江尻校長

【校長先生からの一言】

印南小学校は今年で創立120周年を迎える学校です。佐倉藩成徳書院の江原校として始まった由緒ある学校でもあります。今でもよき学舎として子供たちの笑顔いっぱい元気いっぱいの学校です。今年には県の体力づくりの研究指定をいただき2年目を迎え、ますます充実した教育を推進していきます。体育を通じてさわやかな子、明るく元気な子、頑張れる子、仲間を大切にする子、そんな子を育てられたら素晴らしいと考えています。

【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する、たくましい印南っ子」

- 《めざす児童の姿》一人一人が輝く楽しい学校
- ・考える子（進んで学び、豊かに表現できる子）
 - ・思いやる子（やさしく思いやりのある子）
 - ・元気な子（心も体もたくましい元気な子）

重点目標

- ・基礎基本、学力の定着
- ・ふれあい活動の充実
- ・運動に親しむ態度や能力の育成
- ・勤労観の育成
- ・佐倉学を中心とした人材の活用

佐倉市立千代田小学校



加曽利校長

【校長先生から一言】

開校136年目を迎える千代田小学校は新旧の「歴史」「自然」「地域」が程よく融和した環境の中にあり、子どもたちにとってこの上ない教育環境が整えられています。校内には自然が豊かで、常に子どもたちの元気な声が響き渡り、活気ある姿が常に見られます。本校は早くから「国際理解教育」に取り組み、オランダの小学校との交流は子どもたちにとって国際理解の実践の場となっています。

【今年度の教育目標】

『かしこく、やさしく、たくましい子の育成』

＜今年度の重点＞

- 学習指導を充実する。
- 基本的な生活習慣の定着を図る。
- 話し合い活動を見直し、自治活動を活発化させる。
- 算数科の研修を通して教師の指導力の向上を図る。
- 小中学校の連携を図る。
- 施設設備の改善を図る。

佐倉市立上志津小学校



菅原校長

【校長先生からの一言】

緑豊かな上志津の高台にある学校です。本校の自慢は、朝の元気な挨拶と笑顔で登校する子ども達と、それを支える保護者・地域の方々です。

また、知育・体育・徳育の基礎となる食育の指導は、他校に先駆けて取り組み、多くの成果を上げています。今年度は、継続と改善の調和を図り、子ども達が「明日も来たくなる学校」づくりを保護者・地域の協力や支援を得ながら進めていきます。

【今年度の教育目標】

「かがやけ上志津っ子」を掲げての4つの児童像は、自己評価に基づく金メダルの獲得数から判断すると、児童の成長の跡が考えられます。今年度は、それを継続しながらも、一人ひとりがより高い目標をいろいろな場で実践できるように、確かな指導と豊かな愛情を基本としながら指導・支援の強化を図ります。

また、特別支援教育の良さを全職員で共通理解し、児童・保護者が個に応じて安心して学べる環境・体制づくりを進めます。

佐倉市立志津小学校



伊藤校長

【校長先生からの一言】

今年度、創立135年目を迎える志津小学校です。明るく素直で元気に挨拶できる子ども達です。保護者、地域の皆様方は積極的に学校を支援してくださる方々です。各防犯団体の方々による子どもの見守り活動、ボランティアの方々による本の貸し出し、修理、読み聞かせの活動を始め、PTA活動もさかんです。私たちは、社会に出るための基礎をしっかりと子どもに身につけさせたいと思います。

【今年度の教育目標】

しづっこ（志津っ子）－『し』っかり聞いて話せる子『づ』つながりを大事にする子
『っ』つよい体をつくる子『こ』こころ配りのできるやさしい子－

教育目標を「しづっこ（志津っ子）」と関連させて指導してきました。その結果、これらが児童に浸透してきました。しかしながら、昨年度の学校評価で、『し』「しっかり聞いて話せる子」に課題があることが分かりました。今年度は、「しっかり聞く」ということと「自分の考えを話す、表現する」ということに力をいれて指導していきたいと思っています。

佐倉市立下志津小学校



上野校長

【校長先生からの一言】

児童の登校時の安全確保と交通安全を期して、毎朝所要所に立たれている、保護者と地域のボランティア（スクールガード）の方々。すがすがしい挨拶が交わされていました。ボランティアの方々には下校時にも児童に寄り添うように見守ってくださっていました。保護者と地域が理解と協力をしながら、児童を育てようという、これまでの積み重ねの歩みがひしひしと伝わってくる光景でした。

【今年度の教育目標】

『意欲を持って自主的に活動する児童の育成』

【目指す児童像】

①学習する子（自学自習） ②助け合う子（協力礼儀） ③健康な子（健康安全）

合言葉は、「レッツ・チャレンジ・下志津の子」～遊ぼう・学ぼう・仲良くしよう～
保護者や地域の学校に対する願いを、正面から真摯に受け止め、「子どものためになるか、ならないか」を判断の拠り所として、職員の英知を結集して児童の指導にあたっていきたい。

佐倉市立南志津小学校



堀内校長

【校長先生からの一言】

緑いっぱいの豊かな自然に囲まれ、美しい花々が咲き誇るうるおいのある学校です。地域推進会議を中心に地域活動への児童参加、学校教育への地域住民参加という相互交流により教育活動の充実を図っています。「あいさつがあふれる学校」・「豊かで確かな学びがあふれる学校」・「歌声いっぱいの学校」・「花いっぱいの学校」を目標としています。今年度より校内に南志津学童保育所が開設されています。

【今年度の教育目標】

『心豊かなたくましい児童の育成』

《めざす児童像》

- 元 気
 - やる気
 - 根 気（今年度の重点）
 - 優 気（今年度の重点）
- ・外で元気に遊ぶ子ども
 - ・力いっぱいがんばる子ども
 - ・最後まで話を聞く子ども
 - ・自ら進んで取り組み最後までやりぬこうとする子ども
 - ・友だちとなかよくできる子ども
 - ・相手の立場になって思いやり、行動できる子ども
 - ・明るくあいさつできる子ども
 - ・自ら学ぶ子ども

佐倉市立根郷小学校



井口校長

【校長先生から一言】

「進取の心」を校訓とし、自ら学び実践しようとする児童「佐倉人氣質」の育成を目指します。「佐倉学」を通して、生きる力を培います。

好学進取の精神、品格ある佐倉人を育成し、佐倉の先人の生き方や学ぶ姿勢を自分の生き方に反映させます。たくさんの地域の人とふれあいボランティアに見守られ安全な学校生活です。朝の読書やドリルタイム（漢字・計算）を毎日実施し、学力向上を図ります。

【今年度の教育目標】

「実践力のある個性豊かなたくましい児童の育成」のため、下記具体的目標としました。

- ① 花がいっぱい・・・花が咲き、まわりが整った、清潔できれいな学校。
- ② 笑顔がいっぱい・・・明るい挨拶を交わし、声をかけ合い協力し合う子どもがいっぱいの学校。
- ③ やる気がいっぱい・・・喜んで登校し、元気に運動し、はりきって学習する子どもがいっぱいの学校。

佐倉市立和田小学校



山田校長

【校長先生からの一言】

本校は佐倉市の南部に位置し、豊かな自然に恵まれた学校です。祖父母、両親と三世同居の家庭が多く、子ども達は優しく思いやりがあります。児童数92名の小規模校なので、異学年交流が盛んです。保護者や地域の学校教育への関心は高く、体験学習への協力や子ども達の安全を守る活動、教育環境の整備にも大変活発です。近くの公民館や和田ふるさと館を利用した地域ぐるみの活動が盛んです。あいさつを自然に交わす姿が地域内に定着しています。

【今年度の教育目標】

- 1 学校教育目標 心豊かに生き生きと活動する児童の育成
『みんな なかよく たくましく』
- 2 目指す児童像
 - 【和】 わかるまで根気よく学ぶ子
 - 【田っ】 たくましく体を鍛える子
 - 【子】 こころ優しい思いやりのある子

佐倉市立弥富小学校



【校長先生から一言】

本校は農村地帯にあり協力的な地域の人々と豊かな自然に恵まれています。まさに地域に支えられている地域立の学校です。平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、弥富地区以外から6名の転入学がありました。全校児童79名という小人数の利点を生かし、特に算数では一人ひとりの児童にきめ細かな個別指導を充実させ学力の向上を図ってまいります。

【今年度の教育目標】

『学び合う子』——感じる 考える 関わる——

日常生活全般の中で、五感を通して疑問を持ち、課題解決のために情報を取捨選択し、考えたことを言葉や文字に表現し、他と関わり互いに磨き合いながら自他の尊重、協働の精神を涵養してまいります。

【今年度の重点目標】

1. 明るい挨拶、元気のよい返事ができる子どもを育てる。
2. 常にめあてを持ち、時と場に応じた適切な行動をすることができる子どもを育てる。
※弥富小学校で学んで本当に良かったと評価される学校を目指します。

佐倉市立井野小学校



【校長先生からの一言】

「長割の 若葉の丘に 集まりて」、これは本校校歌の一節です。縄文後晩期(4000年～3000年前)の遙か昔が偲ばれる井野長割(いのながわり)遺跡(約66,000㎡)が眠るなだらかな丘、ちょうどその中心に建つ珍しい学校で、井野っ子山と称して子ども達の夢を育ててきた学校林も今は国指定史跡の一部。見上げるほどの「コナラ」や「クヌギ」の雑木林が歴史を語り伝える学校でもあります。

【今年度の教育目標】

『生きる力を自ら積み上げる井野っ子の育成』

めざす児童像

- ◎夢を持ち、やる気がいっぱいの子ども(楽しく学ぶ子)
- ◎気づいて行動し、誠実に取り組める子ども(気づき行動する子)
- ◎友達を大切に、笑顔のあふれる子ども(やさしい子)

努力点(達成目標)

- ・言葉を丁寧に学ぶ子にします。(七五三読書、群読、俳句)
- ・返事、挨拶のしっかりできる子にします。(井野っ子粋な仕草、55運動)
- ・仲良し遊びで心身を鍛える子にします。(みんなの時間、縦割り班活動)

佐倉市立佐倉東小学校



【校長先生からの一言】

東小の自慢は広い校庭、そこで思い切り体を動かしている子ども達があります。そして「なかよし」を合言葉に全校の児童がふだんの生活や行事でよく交わっていてやさしい気持ちを育んでいます。また「地域」との結びつきが強く、「ガードパトロール」の皆さんが毎日学校を守ってくださいます。今年4月に佐倉の偉人津田仙先生ゆかりの栗の木を植え、学校の自慢が増えました。

【今年度の教育目標】

『人間尊重の精神に富む豊かな心と正しい判断力を持ち、
進んで学び実践できる児童の育成』

- | | | | |
|---------|--|---------|-------------------------------------|
| ○目指す学校像 | 花が咲くきれいな学校
挨拶が交わされる学校
笑顔があふれる学校
やる気がいっぱいの学校 | ○目指す児童像 | 進んで学習に取り組む子
仲良く助け合う子
進んで運動する子 |
|---------|--|---------|-------------------------------------|

佐倉市立西志津小学校



【校長先生からの一言】

心の豊かさは、人と関わり合うことから育てられます。心の豊かさは明るいあいさつに現れてくるものです。一日のはじまりは、気持ちのよいあいさつからはじめたいものです。明るい笑顔にのせたあいさつは、人の心を和ませ、そして豊かにするものです。あいさつを交わし合うことは気持ちがいいものだ子ども達に感じさせたい。明るいあいさつの通いあう学校にしたい。

【今年度の教育目標】

『思いやりのところをもち 知性豊かなたくましい子ども』
○求める児童のすがた ○めざす学校のすがた 「明るい声がひびきわたる学校」



- ・きれいな学校
- ・歌声が響く学校
- ・本の風景が似合う学校
- ・規律ある学校
- ・明るいあいさつが通い合う学校

佐倉市立小竹小学校



林校長

【校長先生からの一言】

開校以来のシンボルカラーであるオレンジ色の校旗がたなびいている校庭では、明るい笑顔と活発に体を動かす小竹っ子でいっぱいです。

校庭のまわりは、緑豊かな樹木やつつじの生け垣に囲まれ、花壇には、常に花がいっぱいです。季節感を味わいながら体験活動を取り入れ、身近な地域の教材を活用した授業を進めています。「明るくきれいな学校、美しい歌の響く学校」でありたいと考えています。

【今年度の教育目標】

『夢をもち、21世紀をたくましく生きる心豊かな小竹っ子の育成』

めざす小竹っ子像を「元気な子」「やさしい子」「考える子」として、児童一人ひとりを認め伸ばす、創意に富んだ学校づくり、教職員が各自の特性を生かし、協力し合って教育に励む活気ある学校づくり、家庭や地域社会との連携を深め、信頼される学校づくりを進めていきます。今年度は、福祉教育と小中連携を重点にして取り組んでいきます。

佐倉市立間野台小学校



櫻井校長

【校長先生からの一言】

住宅街にあって花いっぱい
で緑豊かな、臼井地区由来の
楠の木が多く植樹された公園
併設の本校は創立28年目。
児童と共にありがたい感謝

の言葉を届けつつ、常に感性を高める工夫に努め、感じさせて動かし、そして笑顔を決やさず経営に邁進します。保護者や地域の方々の様々な形で率先して取り組んでいただけるボランティア活動に支えられて、明るく元気に育つ子ども達です。

【今年度の教育目標】

『心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』

未来を担う人間としての基礎作りの観点に立って、家庭や地域社会と連携し、教職員の創意工夫のもとに、子どもの人間性を尊重した教育を推進します。めざす児童像を「仲良く助け合うやさしい子（やさしく）」「進んで学びよく考える子（かしこく）」「体をきたえる元気な子（たくましく）」とし、子どもの“よさ”や“可能性”を引き出し、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成に努めます。

佐倉市立王子台小学校



【校長先生から一言】

本校は住宅地にありながらも近くには豊かな自然が残されており、教育環境に恵まれた学校です。学区内の様々な専門的知識を持った方がボランティアとして、子ども達の学習を支援していただいています。王子台小学校に学ぶ全ての子ども達には、切磋琢磨しながら自分の能力を伸ばすと共に地域の一員としての自覚を持ち、人との関わりを大切にし、思いやりのある人になってほしいと願っています。

【今年度の教育目標】

『一人一人のよさが発揮でき、学ぶ喜びを感じる楽しい学校づくり』

～思いやりの心を持ち 知性豊かなたくましい児童の育成～

—めざす児童像— ○思いやる子（自分を大切にし、お互いを認め合い、支え合う子）

○学び合う子（自ら学びよく聞き、考え、自分を高めようとする子）

○たくましい子（自分の健康に気づき、運動に親しみ、心身ともに成長する子）

「教育は人にあり」を基本理念として、地域や保護者の期待に応えられる教師集団を構築していく。子ども達を「知・徳・体」のバランスのとれた人間を育むために、全職員が知恵を出して教育を推進していきたい。

佐倉市立青菅小学校



【校長先生から一言】

本校は、自然に恵まれた温かい雰囲気にも包まれた学校です。『おはようございまーす』子ども達の元気なあいさつから青菅のスタートです。本校は、全校児童を10班に分けて活動する縦割り班活動、「成木もち」など地域の方との世代間交流、優都苑との交流を通じた福祉教育の実践が特色です。教師と児童の心の通い合う人間関係を作り、思いやりのある児童を育てていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる児童の育成』

<めざす児童像>

あ→明るいあいさつができる子

お→おもいやりのある子

す→進んで学ぶ子

げ→元気に運動する子

<めざす学校像>

厳しさと愛情で一人ひとりを大切に育てる学校。保護者や地域に信頼される学校。

佐倉市立寺崎小学校



大崎校長

【校長先生から一言】

昨年度より13名少ない378名でスタートしました。学習指導要領が改訂され、学校教育が大きく変わろうとしています。学習指導の充実は勿論ですが、心の教育も大切にしていきたいと考えています。そのために、心のこもった挨拶を通して児童同士が、児童と教師が、そして、地域の方々を含めたより多くの皆さんと心のふれあえる学校運営を目指します。自然に恵まれた素晴らしい環境の中で…。

【今年度の教育目標】

『徳育・体育・知育の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

《経営の重点》

- ①きめ細かな学習指導の実践と特別支援教育の充実を図る。
- ②地域の教育力を活かすために、学校運営委員会組織の導入・活用を図る。
- ③教科研究等を通して、伝え合う力や思考力・判断力等の育成を目指す。

佐倉市立山王小学校



大澤校長

【校長先生から一言】

季節の移ろいを身近に感じる恵まれた環境の中で伸び伸びと活動する山王っ子は明るく元気な挨拶で一日がはじまります。校歌に詠われているように「元気よく・ささえあって・励もう」を合い言葉にしています。児童数が200人を切り、各学年単学級ですが敬愛短大との交流や異学年交流そして縦割り活動を取り入れて一人ひとりの児童が生き生きと生活している学校をめざしています。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力を持ち心豊かでたくましい児童の育成』

- 《経営の重点》
- ①具体目標の共通理解を図り、基礎学力の定着に努める。
 - ②組織マネジメントの発想を生かし、運営を円滑にする。
 - ③知・徳・体のバランスよい児童の育成を目指す。
 - ④読書活動の推進と国語教育の充実に努め、生きる力の基礎を養う。
 - ⑤地域に開かれた、信頼される学校づくりを目指す。

佐倉市立染井野小学校



【校長先生から一言】

本校は、今年開校10周年を迎える、オープンスペースを持った学校です。

10月25日に記念行事を開催します。

保護者、地域の方々のボランティア活動が活発で、図書・スクールガード・花…と多くの方々のご協力をいただき、よい環境の中で、子ども達がいきいきと学習に励んでいます。さらに、子ども達の学力を高めるために、教師の力量と指導力の向上を図ります。

【今年度の教育目標】

『よりよい生き方をめざし進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』

「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らのめあてに向かって主体的に取り組み、どんな困難にも逃げることなく乗り越える「たくましさ」の育成に努める。めざす児童像は次の5項目をあげる。①明るい挨拶をし、友達と仲良く協力し合う子②美と清潔を愛し、心をこめて仕事をする子③人の気持ちを考えて行動する思いやりのある子④よく学び、努力によって自分の力にする子⑤体を鍛え、健康安全につとめる子。

佐倉市立白銀小学校



【校長先生から一言】

開校以来、「学校運営委員会」等5つの委員会を順次設け、子ども達を学校・保護者・地域住民が一体となって育み、地域コミュニティの核となる学校づくりをめざしています。今年度は、文部科学省の指定を受け、「コミュニティ・スクール」の調査研究に取り組み、さらに充実化を図ります。低学年の授業時間を増加させるとともに、バランスのとれた教育を推進し、「将来のよき市民」を育成します。

【今年度の教育目標】『自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成』

かしこく：学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育成するとともに、多くの人に学ぶ経験を大切に、「学んだ力を活かす子」の育成をめざします。

なかよく：地域の人々とのふれあいや全校縦割り活動、各種体験活動などを通して、人と接することのよさを実感し「社会生活に生きる力」の育成をめざします。

元気よく：家庭教育との連携を図り、自ら進んで体力や健康の増進に努める態度を育み、「生涯体育や健康づくりに生きる力」の育成をめざします。

佐倉市立佐倉中学校



矢崎校長

【校長先生から一言】

佐倉中学校は昭和22年4月、学校教育法に基づく中学校として、旧軍隊の兵舎を校舎に開校しました。現在地へは昭和32年に移転しました。

その校舎も老朽化し、平成18年8月に第3棟校舎を解体、新校舎完成を待っているところです。仮設校舎で不便なところもありますが、佐倉市の歴史や文化、豊かな自然に囲まれた中で、学習や諸活動、行事に意欲的に取り組んでいます。

【今年度の教育目標】

「校訓『好学進取』のもと、自ら学び、自ら考える力をそなえた、心豊かなたくましい生徒の育成」

- 1 確かな学力を身につけるために、学ぶ意欲を育て、わかる授業を行う。
- 2 開かれた学校づくりを進め、家庭や地域社会との連携を図る。
- 3 基礎・基本の定着と、個に応じた指導の充実を図る。
- 4 教育活動全体をとおして、人権尊重の精神を培わせる。
- 5 教職員として積極的に研修に励み、学校教育の向上に努める。

佐倉市立志津中学校



穂積校長

【校長先生から一言】

志津中学校は、昨年創立60周年の節目の年を経た歴史と伝統ある学校です。学習活動に、行事に、部活動に常に全力で取り組む活力あふれる

志津中生徒達は、「行事に燃える志津中生」の伝統を受け継ぎ、さらに学校生活の充実を図っていってくれと確信しています。また、地域・保護者の方々との協力のもと社会体験等の実践を通して、キャリア教育を推進し、社会の一員としての資質を高める教育活動を展開していきます。

【今年度の教育目標】

進んで学び、心豊かなたくましい生徒の育成

- | | | |
|-----------|--------------------------|-----------|
| 〈進んで学ぶ生徒〉 | ○授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒 | (勤勉) |
| | ○自分の進路に向けて努力し続ける生徒 | (進路) |
| 〈心豊かな生徒〉 | ○礼儀正しく、自他共に大切にす生徒 | (礼儀・思いやり) |
| | ○よく働き、人に尽くす生徒 | (勤労・奉仕) |
| 〈たくましい生徒〉 | ○きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒 | (強い意志) |
| | ○健康・体力作りに励む生徒 | (健康・体力) |

佐倉市立上志津中学校



【校長先生から一言】

本校は、下志津、上志津原などの古村と、生徒数の多くを抱える中志津を学区としています。自治会等の組織が充実し、地域の方の学校教育に関する期待や関心も高く、協力的です。創立36年目となりますが、「地域と密着した学校」として、御輿集会、ほのぼのランチなど地域の方に学校においていただく、また生徒が地域行事にボランティアとして出て行く、といった活動を積極的に取り入れています。

【今年度の教育目標】

『新しい時代にたくましく生きる力の育成』

めざす生徒像として、①あいさつをする子、②時間を守る子、③人の話を聞く子、④清掃をする子、⑤正しい言葉遣いをする子、の5項目を具体的な目標と定めています。本年度は「漢字検定チャレンジ」学習に全校で毎日10分間取り組み、言語事項の充実をめざします。

佐倉市立南部中学校



【校長先生から一言】

本校は佐倉市の南部に位置し、学区は市全体の面積の4割以上を占める自然豊かな地域です。昭和35年9月に根郷中学校を母体とする旧南部中学校と和田、弥富中学校が統合され、新生南部中学校として発足し、2010年度には50周年を迎える伝統ある学校です。学校は「学びの場」として、学ぶ心と「明るい挨拶・大きな返事・さわやかな歌声」を大切に、明るく秩序ある学校を目指します。

【今年度の教育目標】

『勉学に精励し、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

《めざす学校像》

明るく秩序のある学校・保護者や地域社会から信頼される学校

《めざす生徒像》

- ①進んで学習に励み、学力向上をめざす生徒
- ②気力と体力を高める生徒
- ③正しい判断力と豊かな心を持つ生徒
- ④校内美化に力を入れる生徒
- ⑤自治的活動に積極的に取り組む生徒
- ⑥地域の諸活動に積極的に参加する生徒

佐倉市立臼井中学校



【校長先生から一言】

生徒には、夢を持たせたい。夢があれば、実現の為に目的が明確になる。そして、目標が定まり、日々の行動が強い意志を持ったものになる。一步一步の努力が、夢の実現の為のものであることを理解するだろう。体を鍛え、勉学に勤み、友と触れ合い人を思いやる心を育てる日々の生活の積み重ねが未来の自分を作ると、知るであろう。夢を持ち、夢の実現の為に努力し続ける生徒を育てる学校経営をしたい。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた、自己を生涯にわたって教育しつづける意思や能力を持った心豊かで、たくましく生きる力を身につけた生徒を育成する。』

- (1) うつくしい学校づくりをめざし、思いやりに満ちた生徒を育てる。
- (2) すすんで学習し、学ぶ喜びを身につけた生徒を育てる。
- (3) いつも主体的に考えて行動するとともに、良さを生かす生徒を育てる。
- (4) 仲間と協力し、助け合える社会性豊かな生徒を育てる。

佐倉市立井野中学校



【校長先生から一言】

広大な敷地と静かな環境に恵まれた本校は、今年で開校27年目を迎えました。これまで、「明るい挨拶」「響く歌声」「きれいな校舎」「はつらつ健康」「高い学力」という五つの伝統を代々の卒業生たちが受け継いできました。それらの伝統を受け継ぎ、さらに本校を発展させられるよう、生徒たちのこの1年間の活躍を期待しています。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

他と共に生きていることを実感する体験や、わかる・できる喜びの体験を通して、生徒の夢や希望を育むとともに、生徒と共に成長し続ける教師・学校でありたいと思います。

1. めざす生徒像 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒
2. めざす教師像 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師
3. めざす学校像 地域の中に生きる学校

佐倉市立佐倉東中学校



【校長先生から一言】

昭和62年に開校してから今年度で22年目を迎えました。開校当時に比べると生徒数が半分の353名となっています。この間、本校は特別活動、学校同和教育、人権教育等の研究を推進してきました。今年度は市の道徳教育研究モデル校の2年目として11月に公開研究会を予定しております。生徒は、先生方の情熱あふれる指導のもとに、「学力向上」「挨拶」「歌声」「清掃」「部活動」等に日々熱心に取り組んでいます。

【今年度の教育目標】

『心豊かで生きる力をそなえた生徒の育成をはかる』

《めざす学校像》

- ・生徒にとって毎日が充実して楽しい学校
- ・思いやりの心をはぐくむ学校
- ・きれいな学校
- ・明るい挨拶のあふれる学校
- ・歌声の響く学校
- ・開かれた学校

佐倉市立臼井西中学校



【校長先生から一言】

緑豊かな水田と木々に囲まれた本校は、創立21年目を迎えました。子ども達は、明るく素直で、いつも元気の良さやさわやかな挨拶ができます。全職員「生徒のためになるかどうか」を基準にして、生徒の自己実現を図るため最大限努力していきます。今年度も基礎学力の向上を目指し、分かる授業の実践は勿論ですが、基本的な生活習慣の確立を図ります。家庭・地域と連携を図って達成したいと考えます。

【今年度の教育目標】

「礼節と規範を重んじ、自ら学び、自主的・自律的に生きる心豊かでたくましい生徒の育成を図る」を基本目標に、めざす生徒像を「①よく学習する生徒、②礼儀正しい生徒、③よく働く生徒、④心のやさしい生徒、⑤よく運動する生徒」とし、めざす学校像を「①しっかりと学びが保障されている学校、②いじめのない安心できる学校③地域とともにあり、信頼される学校」、めざす教師像を「①使命感に燃え、常に愛情を持って生徒に接する教師、②ロマンを持ち、アイデアを生かし、率先して行動する教師、③授業に全力を尽くし、信頼され慕われる教師」としています。

佐倉市立西志津中学校



大塚校長

【校長先生から一言】

本校は創立21年目を迎え、生徒主体に行う行事やボランティア活動は、本校のよき伝統となっています。その上立って、新たな伝統を築き上げていこうと日々生徒は、目標を持ち、学習や諸活動に、一生懸命に取り組んでいます。さらに全職員が一丸となって「生徒にとって通いたい学校、保護者・地域にとって通わせたい学校、職員にとって生き甲斐が持てる学校」にしていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『学ぶ喜びを知り、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

[めざす学校像]

- ① 明るく秩序のある学校
- ② 「文武両道」をめざす活気ある学校
- ③ 礼儀正しい言動ができる学校
- ④ 個々の生徒の良さを認め、伸ばす学校
- ⑤ 美しい歌声が響く学校
- ⑥ 教育環境を大事にする学校
- ⑦ 小学校との連携及び家庭・地域社会との連携を大切にする学校

佐倉市立臼井南中学校



松田校長

【校長先生から一言】

旧石器時代の遺跡が残るこの地に、本校が開校して14年目を迎えます。近くに印旛沼もあり、自然が豊かで古くから栄えたところですが通学する生徒の9割は開発に伴って全国から移り住んできた人たちです。保護者は教育熱心で学校に対する理解も深いです。ただ、地域への愛着は強いとはいえません。「地域との協働による学校運営」をめざす中でふるさと意識を構築していきたいと考えています。

【今年度の教育目標】

『高い知性としなやかな感性を身につけ、たくましく生きる生徒の育成』

- 好 学 進 取：学ぶことの楽しさを知りよく考え、探求的な学習ができる生徒
- 自 主・自 律：自らを律し、ものごとの是非を的確に判断し、集団の一員として積極的に活動する生徒
- 健 康：健康や体力の向上に努め、明るく、礼儀正しく、常に前向きな態度と実践力を持った生徒
- 共生と社会貢献：思いやりがあり、奉仕に励み、自然を慈しみ、動植物や環境を大切にす生徒

佐倉市立根郷中学校



井上校長

【校長先生から一言】

「本当は優しい人なんだけど」と言われるより「本当に優しい人なんだなあ」と言われる生徒になってほしいといつも思っています。自分の素直な考えや思いを言葉や文字で表現し、更に行動で示す。そして「本当に優しい人だなあ」、「本当に頑張ってるなあ」と認められた時、人に愛され必要とされる存在となっているはずで
す。職員一同「根郷中の教育に責任を持つ」を合言葉に生徒を支えます。

【今年度の教育目標】

『次代をひらき、心豊かに、たくましく生きる力を身につけた生徒の育成』

当面、授業においては、「気づき、考え、発表する」時間を確保し、自らの考えや思いを心豊かに表現できるよう授業改善を図ります。生活の面では「心の通う挨拶」「すがすがしい返事」「心までも磨く清掃」に重点を置き、豊かな心の育成に努めます。

特に、誰もができて、毎日できて、はっきりとその場で成果が見える清掃活動には力点を置きます。